

科目名	環境（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	1		
担当教員	葉山 亮三、中村 俊哉				
内容および計画	<p>の授業では幼児と環境で学んだことを踏まえ、さらに幼児教育の基礎となる子どもを巡る環境について、知識経験を学び子どもに伝えることのできる指導力を養う。</p> <p>領域環境に求められる身近な環境、自然との関り、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにするため、自然物や身近な環境、素材、伝統行事事例等様々な演習を通して教材の理解を深める。また今日的な環境となる ICT 機器についても積極的に活用し、保育者としての活用、子どもによる活用事例についても学ぶ。保育者としては子どもに提示するツールとして、また教材の作成に活用ツールとしての ICT 機器について学習する。子どもによる活用事例としては数、形を学ぶ上で活用できることや子どもの目線を映像（画像）やデータとして残すためにカメラが活用できること等を学習する予定である。</p> <p>領域「環境」に即した指導計画案を作成し模擬保育を行うことで、実践的な指導法を経験する。</p>				
1	領域環境のねらい、ガイダンス・耕作活動、栽培（担当：葉山亮三）				
2	地域散策（施設、情報、伝統、自然に目を向けて子どもの目線で記録する）（担当：葉山亮三）				
3	物に関わる保育①（道具・用具・ICT 機器の活用について）（担当：葉山亮三）				
4	物に関わる保育②（身近な素材遊び）（担当：葉山亮三）				
5	人的環境、社会的環境（DVD 鑑賞）（担当：葉山亮三）				
6	指導計画案について①（立案、模擬保育について）（担当：中村俊哉、葉山亮三）				
7	指導計画案について②計画案の作成（担当：葉山亮三）				
8	子どもと環境のかかわり①（自然環境の実践）（担当：中村俊哉）				
9	子どもと環境のかかわり②（食農保育について）（担当：中村俊哉）				
10	擬保育～自然環境を用いて①～（担当：中村俊哉、葉山亮三）				
11	擬保育～自然環境を用いて①～（担当：中村俊哉、葉山亮三）				
12	模擬保育③（振り返り）（担当：葉山亮三）				
13	伝統行事実践（担当：葉山亮三）				
14	耕作活動、収穫（担当：葉山亮三）				
15	調理演習、まとめ（担当：葉山亮三）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	幼稚園教育要領<平成 29 年公示>		文部科学省		
	保育所保育指針<平成 29 年公示>		厚生労働省		
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成 29 年公示>		内閣府 文部科学省 厚生労働省		
	演習 保育内容 環境	岡 健	建帛社	978-4-7679-5101-0	2019
参考書	その他適宜紹介する				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	講義中に求められるリアクションペーパー、課題等				60
	指導計画案等模擬保育に関する課題				40

学習到達目標	子どもが、周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活の中に取り入れていこうとする力を養える実践力、指導法を学ぶ。
先修条件	
実務経験	
その他	